

【施工監理はオリコンサルグローバルJV ジャカルタ LRT 延伸工事が起工】



ジャカルタLRT 延伸工事が起工

施工監理はオリコン
サルグローバルJV

オリエンタルコンサルタンツグローバルは10月31日、インドネシア・ジャカルタの軽軌道交通「LRTジャカルタフェーズIB（ヴェロドーム（マンガライ線）」の起工式が同月30日に開かれたと明らかにした。起工式は延伸工事の起点となるヴェロドーム駅前で行われ、写真、プ

ム駅前で行われ、写真、プ
イ運輸大臣やリサル鉄道総局
長ら同国政府関係者のほか、
同社の米澤栄二社長も参加し
た。

Jakarta Prop
ertindo（Per
eroda）が運営するLR
T（次世代型路面電車）ジャ
カルタは、2019年12月に
プガンサアンドウア駅とヴェ
ロドーム駅間を結ぶフェーズ
1区間が開業した。

今回起工したフェーズIB
は、その延伸となるヴェロド
ーム駅とマンガライ駅間の長
さ6・4キロが対象で全線高架
とし5駅を設ける。同社を幹
事会社とする4社JVが同区
間の基本設計の照査・入札図
書の作成業務、入札支援業務
と施工監理を担当する。

この事業で首都ジャカルタ
の北東部と中心部をLRTで
結ぶことによって、年々深刻
化する首都の交通渋滞を解消
し、地域住民の利便性向上に
寄与することが期待されてい
る。